

# 友の会のページ

「お元気ですか」改題No.284  
編集 代々木健康友の会  
〒03(5411)9589  
FAX 03(3404)3421

**会費納入のご案内**  
会費納入は、郵便振替が便利です。  
会費は年間1,000円です。  
口座番号 00190-7-71019  
加入者名 代々木健康友の会

## 代々木健康友の会第45回定期総会

10月23日(日)10:00~13:00 全理連ビル9階(JR代々木駅徒歩3分)

記念講演 小池晃氏 (前参議院議員・医師)

同封の返信用はがきで出欠をお知らせ下さい

### 東大震災

## あれから半年、いまだ苦境にある被災地の生活

未曾有の被害をもたらし、被災者約100万人に上ると推定される東大震災の発生から6カ月。いまだ9万人近い方々が避難生活を送っています。

代々木健康友の会は、被災者の苦しみに心を寄せ、救済募金やボランティア活動に取り組んでいます。

9月11日、石巻市の仮設住宅の青空バザー会場で、玉ねぎ、じゃがいも、人参、トマトなど200キロの野菜を無料配布しました。

四回目をボランティア活動に参加した副会長伊香忠志さんは「最初に現地に行ったのは5月中旬でした。ほぼ毎月ボランティア活動に参加して現地を視察しています。5月は目を覆うばかりの瓦礫の山、荒涼とした風景、汚泥の匂い等、言

葉にならないほどのシロクマを受けました。確かに瓦礫と化した車や鉄柱などは撤去されていますし、道路は車などが通行できるようになっています。しかし、被災者は6ヶ月たっても避難生活をつづけて、不安な毎日を送っています。実際、勤務先が再開のめどがたらず働く場所もなく、帰る家もなく、そして何よりも家族を失った悲しみの深さははかり

られません。ボランティア活動について伊香さんは「最初は、避難所での炊き出しをしたり、支援物資を送って青空無料バザーでした。何とか元

氣を取り戻してほしい、という思いからで、また、側溝の泥みなど、被災者の生活に支障を及ぼしているところを、ボランティアで清掃したり、仮設住宅での無料バザーに何度か参加して、列を組んで待ちたい」と語っています。



仮設住宅で無料バザー

### ボランティアの登録について

現在、被災地の民医連が参加する「災対連」は毎月「炊き出し＆なんでも相談会」を各地で開催、救済物資

の配布などを行っています。友の会は、こうした会場への支援物資、ボランティア登録を、お申し込み、決まり次第で連絡を差し上げさせていただきます。ご希望の方は、友の会事務所に

**東日本大震災の被災者の心に寄り添い、地域住民が主体の復興・復興と原発ゼロをめざし、社会保障の充実、消費税増税反対の世論を広げ、誰もが安心できる「くらし」「いのち」を守る新しい福祉社会、強く大きな友の会と健康づくりに取り組み「月間」を成功させましょう**

### 政権交代から2年

3人目の首相に野田佳彦氏が就任しました。国民が「政権交代」に託したのは、自民党政治を変えてほしいというこ

### 拡大月間 10/1~12/28

ことは、普天間基地問題でも、消費税増税問題でも、自民党政治と「同じ道」に戻ることです。野田新内閣は、自民党と公明党に

### 医療・介護では、改悪に狙われ

悪化する改悪が狙われ、後期高齢者医療保険料は、来年度の改定で大幅な負担増が計画されています。介護保険料の大幅な引き上げと給付抑制が計画

### 待合室

みなさん、はじめまして。今年、春から代々木病院の若手職員

3名、代々木健康友の会のお二人と共に参加して、心を揺さぶられるものがありました。

### 思い

今、みなさんが処方箋を持って来られる際にお会いすることがあるかと思いますが、どうぞよろしく願います。

うに福島で現在も続いている原発事故の影響で、これまでとは違った意味と「フーモア」が叫んでいた事で、注目された。これまでの「フーモア」ヒロシマ、ナガサキに新たに「フクシマ」が加わって、界の人々の目と多くの

維持、社会復帰につながる生活を送るよう役立てていただけたらと思います。

原水禁世界大会に参加した全国の民医連の仲間達の活動を聞き、被災者医療の伝統を持つ代々木病院でも、今年、6・9行動や原水禁大会への代表団派遣以外にも、何か1年を通じて誰もが参加しやすい継続的な活動が出来ないか模索して、うと思っています。



長崎両被爆地や東界の人々の目と多くの

加藤翼

### 健診を受けましょう

医療が発達し、長寿国として有名な日本。感染症で亡くなる方の割合は昔と比べ減りましたが、今多くの日本人の死因として最も多い疾病はがんです。

この話をすると、我が家はがんの家系ではないから大丈夫、がんを発症する年代ではないから大丈夫といった声がかかります。しかし、がんは全ての人に起こり得る病気です。

早期発見が、早期の治療と回復、身体機能

的に健診で自分の健康状態をチェックし、より素晴らしい生活を送るよう役立てていただけたらと思います。

健診課 三村尚代

### 料金表(税込み)

検査項目	友の会料金	一般料金
乳がん検診 (触診+マンモグラフィ+乳房エコー検査)	3,000	5,250
乳がん検診と子宮がん検診 (子宮頸部の細胞診) セット	8,000	10,500
前立腺がん検診 (PSA検査)	1,200	2,100
大腸がん検診 (便潜血2回法)	500	2,100
外来人間ドック	26,250	42,000

好評発売中  
**MIN-IREN**  
いつでも元気 10月号 380円  
巻頭エッセイ/ひとりの母として UA  
元氣スペシャル  
『お祭り』で探るきずな 岩手  
特集1 「社会保障と税の一体改革」の正体は? 中央社保協・相野谷安孝事務局長にさぐ  
特集2 動悸を感じたら 症状によっては治療が必要 田中真一  
食と健康 高齢者の心から 腎臓を守る  
発行=保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター3階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657

# 代々木健康友の会 第45回定期総会方針案

## 地域住民が主体の復旧・復興と原発ゼロをめざし、誰もが安心して暮らせる新しい福祉社会、強く大きな友の会を築こう

### 活動のまとめと方針 私たちをめぐる情勢

3月11日に発生した東日本大震災・福島第一原発事故は、日本社会と国民に甚大な被害をもたらした。今なお、9万人近い方々が避難生活を余儀なくされ、先が見えない不安と苦しい生活が続いています。福島原発事故は、なお収束の見通しが立たず、「ウラン換算で広島型原発20個分」(東京大学・児玉龍彦教授)とも指摘されており、被害が全国に拡大する深刻な事態が続いています。

3月11日を契機に、多くの国民の社会と政治のあり方、生き方に大きな変化が起こっています。「人のために何かをしたい」「人と人との絆、地域の絆を大切にしたい」といった思いが広がっています。



「9・19さよなら原発集会」

野田首相は、組閣前に財界3団体を訪問、自民・公明両党首とも会談し、「財界に直結」「自公との事実上の大連立」、そして「消費税の大増税」という道をつきすすもうとしています。



宮城県石巻市の仮設住宅で無料バザー

代々木健康友の会は、地域で原発ゼロを目指す草の根の運動を展開させ、脱原発の一点で共通を広げるために力を尽くします。また、被災地の心に寄り添い、被災者支援募金やボランティア活動などの取り組みを強化します。

政権交代から2年。民主党は「自民党政治を終わりにする」という国民の審判と期待を裏切り続けて、国民の支持を失い、見放される状態に陥っています。こうしたなかで3人目の首相に野田佳彦氏が就任しました。

野田首相は、組閣前に財界3団体を訪問、自民・公明両党首とも会談し、「財界に直結」「自公との事実上の大連立」、そして「消費税の大増税」という道をつきすすもうとしています。

新内閣発足直後に民主・前原政調会長がワシントンで自衛隊と他の国の軍隊と武力行使がで

るようすべきと、自衛隊の武器使用基準緩和や武器輸出三原則の見直しを言及。さらに、鉢呂経産省が原発被害者を踏みつける暴言を繰り返して辞任しました。普天間基地の問題でも、TPP(環太平洋連携協定)の問題でも、原発問題にしても、古い自民党政治と一体化する方向で「連立」を求めていくという動きです。

特に、社会保障と税の「一体改革」の名による消費税増税や「復興増税」は絶対認められません。大震災の影響は広範な国民に及び、青年層の雇用の非正規化が加速するなど雇用が不安定で、中小企業や建設関連業者、商店街の売り上げの減少など、深刻になっています。こうしたときに、国民の暮らしにさらなる打撃を与え、救援と復興の事業を根本から破壊する消費税増税に手を付けることは論外です。

また、医療・介護では、「平均在院日数の減少、外来受診の適正化」の名による医療抑制、「受診時定額負担の検討」「自己負担割合の見直し」などサービスの抑制と負担増の方向です。年金では「支給開始年齢の引き上げ」を明記するなど、改悪につぐ改悪が狙われています。後期高齢者医療保険料の大幅アップも必至です。

地方政治では、災害への備え、福祉と防災のまちづくりをすすめる、原発ゼロ、自然・再生可能エネルギーへの転換、命と暮らしを最優先にする自治体への転換が求められています。

代々木健康友の会は、平和で核兵器も原発も基地もない、安心して住み続けられる街づくり、住民が主体の新しい福祉社会づくりのために全力を尽くします。

大震災は、これまでの私たちの生活の記憶が消えてしまえば、その衝撃的な災害と事故となっ

ていきます。地域崩壊によって「孤独死」「無縁死」などが多発するなかで、友の会が地域で助け合い、支えあいの運動、さらに、高齢者の見守り活動を重視することは、安心して暮らしていくために大切な活動になっていきます。

この間、友の会が大事にしてきたのは会員の訪問活動です。梅雨明けの厳しい暑さのなか、



熱中症対策で会員訪問



6・9行動 千駄ヶ谷駅



学習会「原発問題と私たちのくらし」



被爆体験を聞く会

2週間連日行いました。訪問による対話は55軒、参加者は延べ59人、そのなかで独居は34%、老々世帯を含めると64%で、日中独居の方も複数いました。この活動は全国ネットのNHKで放映され、四国や東北の仲間から「見たよ。頑張ってるね」と大きな反響がありました。

この訪問で、「クーラは使わない、扇風機は暑い時だけ使う」と言う会員さんが多くいました。また、室温は32度だったりで、節電の宣伝などの影響で我慢しているのが実態です。また、「寂しい」「つまらない」「誰ともしゃべらない日が続く」など会員さんの訴えは切実です。こうした訪問活動で寄せられた要望をまとめ、熱中症対策と救急医療情報キットの活用を求めて、8月の初め、渋谷区に「猛暑から住民のいのちを守る」ための要望書を提出し、交渉しました。独居の方には介護認定の申請をするなど、診療所と連携しながらすすめてきました。

地域で友の会が頼りになり、心のよりどころになっていきます。誰でも集える「たまり場」「食事会」など、これまで以上に地域のネットワークを強めてきました。

医療や介護、高齢者のいのちと生活を守る活動では、地域の社会保障推進協議会(社保協)といっしょに運動をすすめてきました。75才以上の医療費無料化を求める運動では、のぼり旗をつくり、週一回千駄ヶ谷駅で署名宣伝行動を行い、院内行動でも署名を上げてきました。また、消費税増税反対の昼休み宣伝行動にとりくみ、渋谷駅前「何でも相談会」や東京土建渋谷支部主催の「住宅デー」では健康チェックをおこなってきました。

原水禁世界大会の派遣募金や被災者支援・ボランティア活動派遣募金には多くの会員から寄せられました。みなさんの願い、思いを受け止め積極的に活用します。

大江健三郎さんや落合恵子さんなどの著名人が呼びかけた「9・19原発さよなら集会」は全国から6万人が参加、「原発ゼロ」の一点での共同が広がりました。

代々木病院は今年度から「無料低額診療事業」を実現しました。安心して医療が受けられる病院として大いに宣伝していきます。

地域に呼びかけて実施している「健康まつり」や入院患者さんを対象とした「クリスマス会」は、友好団体、ボランティアも参加、職員と友の会が協同して成功させています。

友の会活動の基本は強い大きな友の会の組織づくりにあります。昨年10月から12月までの「共同組織強化月間」では300名の目標に対して185名でしたが、歯科は23名と目標を達成、職員は31名が加入しました。4月入職した16名のうち15名が入会、病院側の訴えが大きな成果につながっています。さらに、日常的に仲間づくりが必要と集中拡大週間を設定し入会の訴えを行いました。

病院の組織広報室と友の会は、綿密な打ち合わせをおこない、全体を牽引してきました。健康づくりをもう一つの柱に据え、健診や友の会ドックで入会する人も増えています。

いま、放射能汚染が広範にわたったり、国、自治体あげてその解決に全力をあげなければなりません。友の会は、災害時とも困難な人たちのいのちとくらしを守るために、そして、未来につなぐ子どもたちを守るために運動をさらに発展させ、地域での組織強化をめざします。

東京勤労者医療会の7つの共同組織が連絡会から「協議会」として発展をめざします。

友の会共同基地は、非営利の「一般社団法人代々木健康友の会共同基地の会」を設立しました。合同慰霊祭は9回をかぞえ、墓地会員は現在250名と広がっています。

### 平和と社会保障、文化・レクリエーションの活動

社会保障がほとんど削られ、命と暮らしが脅かされています。社会保障の充実を求め、高齢者の医療費無料化を求める署名にとりくみ、国会、都議会への要請行動に参加しました。社保セミナーとして2月に介護保険について、9月に障害者自立支援法をテーマにして学習会をおこないました。会員内外から反響があり、入院患者さんも参加、充実した学習会でした。

平和運動では、毎月6・9行動にとりくみ、千駄ヶ谷駅頭で憲法改悪反対、核兵器廃絶の宣伝署名行動を続けてきました。原水禁世界大会in長崎には2名の代表を送り、地域の平和行進にも参加してきました。昨年の原水禁世界大会の代表団が運動の牽引者として活動、毎月集まり企画を練り、第五福竜丸の見学、3・1ピクニックにとりくみました。被爆者の富岡さんの被爆体験を聞く会は感動的でした。12月には慰安婦問題で元国会議員の吉川春子さんを招いて学習会も開きました。



ふれあいコンサート



初台緑道公園健康チェック

2月の早春バスハイイクは、磯部温泉「雀のお宿」でゆったりお風呂にはいり満開のロウバイを楽しみました。一泊旅行は5月の予定でしたが大震災で延期、サマーウォーキングとして実施しました。下部温泉と身延山の久遠寺、七里岩地下壕平和公園を見学。名湯百選の温泉を満喫し、久遠寺の荘厳な五重の塔と広い境内をゆっくり散策しました。参加者から「癒し」のすばらしい旅だった、次回も友人を誘って参加したいなどの感想が寄せられました。

俳句教室は毎月第一水曜日に定例でとりくまれており、句を読むことはもちろん、みんなと語り合うことで楽しい句会となっています。

### 学習教育と宣伝の活動

大震災後、「へら健・友の会ページ」で、被災地の視察やボランティア活動などの報告をおこない、被災者の心に寄り添う復旧活動を応援してきました。また、平和とくらしについての系統的な特集、草の根9条の会について地域の活動を紹介してきました。



神宮前お食事会



サマーウォーキング

友の会の行事、活動はもれなく報告し、地域活動は「地域・班だより」としてかかさず紹介してきました。活動が活発になればなるほど記事が豊富に提供されますが、紙面が窮屈となり、読みにくくなるという弱点がありました。ホームページは毎月の「くらしと健康・友の会ページ」に掲載するなど改善しました。

### 保健ボランティア、組織を強く大きくする活動

会員数6000名を目標に、年間で●●●名の会員を拡大しましたが、長期未納者の整理や、転居、自主退会が多く●●●名にとどまりました。

今年待合室行動を定例で計画するなど職員と友の会の協力によって増やしました。

青空健康チェックは、病院玄関前や代々木診療所前で開催、そこで健康相談や会員拡大につながっています。千駄ヶ谷社教館祭りや鳩の森神社の盆踊りで健康チェックを実施、好評でした。

会員訪問活動を旺盛にすすめ、春には新入職員と一緒に中断患者を訪問、夏には熱中症が問題になっている中、実態アンケートを持ち、千駄ヶ谷、神宮前、本町地域で100名以上の会員訪問を行いました。

毎月院内統一行動を行い、会員の拡大や各種署名を待合室の患者さん対象にとりくみましました。

一階待合室のカウンターは、患者、地域の会員とのふれあいの場として充実してきました。班会は、本町、千駄ヶ谷5丁目、代々木3、5丁目班で再開しました。

待合室セミナーを「原発と私たちのくらし」と題して開催、元しんぶん赤旗科学部長の前田利夫さんが原発問題、スリーマイル島やチェルノブイリ事故、放射能が人体におよぼす影響について講演、35名を越える参加で成功しました。6月に「待合室コンサート」を開き、入院患者さんをはじめ70名以上の参加、ギター、ピアノの演奏や合唱団「バンブー」の歌声を楽しみました。

### 来年度の活動方針

民主党政権のもとで私たちのくらしはさっぱりよくなりません。

新しい高齢者医療制度は70歳から74歳までの窓口負担を2割に引き上げ、滞納者の保険証とりあげ等の内容になっています。また、高齢者医療保険料を17%も値上げする試算もだされています。介護保険制度は来年度が3年ごとの見直しあたり、保険料の大幅な引き上げと給付抑制策が計画されています。

友の会は、後期高齢者医療制度の廃止、誰もが安心できる介護制度をもとめ、さらに、国民生活を破壊する「社会保障と税の一体改革」の名による社会保障改悪と消費税増税反対の世論を広げます。

社会問題になっている「孤独死」「無縁社会」「介護難民」「限界集落」「子どもの貧困」、さらに大震災、原発問題など深刻さを増しています。友の会は高齢者の見守り活動を発展させ、地域の社保協との共同をつよめ、会員に寄り添いながら街づくりをすすめます。

焦眉の課題である「原発から撤退を断然しエ

と題して開催、元しんぶん赤旗科学部長の前田利夫さんが原発問題、スリーマイル島やチェルノブイリ事故、放射能が人体におよぼす影響について講演、35名を越える参加で成功しました。6月に「待合室コンサート」を開き、入院患者さんをはじめ70名以上の参加、ギター、ピアノの演奏や合唱団「バンブー」の歌声を楽しみました。

サークル活動も活発です。「男の料理教室」は、隔月で実施し、楽しく和やかにすすめています。ヨーガ教室は、毎週開催、会員も20名近くに、世話人も決まり年2回の班会も行われています。布遊びも継続しています。

会員が健康で長生きできるように病気の早期発見を目指して、保健予防活動や健康増進、親睦と交流をすすめてきました。また、友の会の外来人間ドックは、128名、乳がん、子宮がん検診は47名、前立腺がん検診は50名でした。

歩こう会は、池波正太郎氏の時代小説の舞台を探索する企画を2回おこない、あとの2回は都内の公園や名所を散策、毎回20名以上が参加し大変好評で、親睦を深めています。

新企画として「楽しく昼食を食べる会」を7月に神宮前地域で開催、閉じこもりがちになっている人に居場所を提供することになり大変喜ばれています。

「福祉、防災の街づくり」は大きな課題です。これまで重視してきた会員訪問活動は街づくりの原点であり、さらに介護の拡充、医療費無料化を求める運動などの活動が福祉と防災に強い街づくりにつながります。

こうした活動を支える友の会の担い手づくり、班世話人などの活動家づくりは不可欠の課題です。地域の班を基礎に、健康づくり、街づくり、支え合いの活動をすすめます。組織的強化を図りつつ、6000名会員を実現するために力を尽くします。

民医連、病院は「あらゆる活動を共同組織とともに」を活動の柱に据えています。友の会も勤医会共同組織連絡会(協議会)や定期協議会、医療を良くする会、倫理委員会の活動などに積極的に参加し、病院・院所との日常的な連携をつよめ、医療と経営の発展のために力を尽くします。

健康で長生きするためにも学び、ふれあい、出歩き、新しい体験をすることが生きる希望につながります。

後期高齢者医療制度については引き続き廃止の運動をすすめる、介護保険については利用者の立場にたって具体的な内容で要求していきます。消費税増税を許さない運動を強め、農業や医療を破壊する「TPP」の学習会にとりくみます。

班会や地域での学習会、宣伝・署名行動をおこない、国会要請をはじめ、地域社保協へ結果として自治体などへの要請や交渉にとりくみます。

社保セミナーは運動をすすめるための講座や必要な内容について開催します。

引き続き、憲法改悪反対、核兵器廃絶の署名行動を強めます。3・1ピクニックをとりくみ、原水禁世界大会に代表を派遣します。また昨年の教訓を生かし原水禁大会代表団が継続して活動できるよう援助します。戦争体験の継承を図るため、語り継ぐ会を企画します。

### 平和と社会保障、文化・レクリエーションの活動

日帰り旅行と一泊旅行は、中身を工夫して参加したくなるようなとりくみにします。

シネマ館については実施できるよう検討します。俳句教室は、楽しく参加できるよう工夫し、日本の伝統文化や芸能などの企画も検討します。

### 学習教育と宣伝の活動

東日本大震災の復旧・復興には永い年月がかかることから、被災地などの現状、復興に向けた活動などの情報発信を教宣活動の柱に据えてとりくみます。社会保障の面では、さまざまな分野で負担増が計画されており、告発と運動などを紹介します。

身近な情報誌としての役割も担えるよう紙面の改善に取り組みます。友の会写真館、絵手紙など広く募集して会員参加を強めます。

各種学習会の企画を系統的に情報発信します。

### 保健ボランティア、組織を強く大きくする活動

6000名の友の会会員をめざし、友の会と病院・院所が協同して拡大にとりくみます。「いつでも元気」は100部の拡大をめざします。

班会を基礎に会員同士の交流を深め、空白地域の班づくり、休眠班の活動再開をすすめる、推進するための班世話人会を開催します。また、班会ではコロナ体操を取り入れるなど内容を工夫し、健康づくりにとりくみます。

青空健康チェックは、新たに鳩の森神社や外苑診療所前で実施するなど旺盛にすすめます。

この間の熱中症の活動を教訓に、会員訪問を旺盛にすすめます。高齢世帯の救急医療情報キットの配布を区と交渉します。

大腸がん、前立腺がん、子宮がん検診、乳がんのマンモグラフィ、乳房エコー検診を意欲的にとりくみます。友の会健診と外来人間ドックを大いにとりくみます。

保健学校で認知症サポート講座を開き、待合室セミナーを企画します。

歩こう会、ヨーガ教室、布あそび、男の料理教室は、参加者といっしょに計画をたて魅力ある内容や健康づくりをめざします。

「ふれあいコンサート」を社保・文化レク部と協同して開催します。

「楽しく昼食を食べる会」を「男の料理教室」の参加者と協力して定期的に開きます。

# 友の会写真館

残しちゃだめ

「9・19原発さよなら集会」に子どもいのちを守る叫び  
世田谷区・福原和雄



11月号から、これまで毎月掲載してきた「友の会写真館」は、みなさんから投稿された写真や絵手紙、俳句、11月号から、また、11月号から、紙面を変更し、友の会ページは3・4ページの差し込み分になります。

(友の会教宣部)

## 社説「障害者」

「障害のある人もない人もしあわせにいきるために」

9月17日、表題のテーマで社保セミナーを17名の参加者で行いました。講師は福祉倶楽部主宰で渋谷社会福祉推進協議会の会長である福井典子さんでした。福井さんの話というか、生き方は社会保障の原点なんだなと実感し、感動しました。お子さんが入所している施設での生活を支え、ご主人の認知症がだんだん重くなり、「私のことも分らないくらいつづつあるのよ」



講演する福井典子さん

権利を主張し、法案を盛り込ませてきた話しは、さすが！と感動。「私たちが抜きに私たちが」

とカラッと話してくださり、意志の強さを感じ、学ばされました。ご自身も病気をかかえながら、福井さんが必要とする運動に飛びこんでいき、中心にならなくて頑張っている姿は輝いていました。障害者自立支援法を廃止させ、障害者推進会議が政府機関として設置。今の民主党政権のお声がかかり(御用学者や関係者、自治体)ばかりの55名が委員の中心で堂々と障害者総合福祉、障害者の弱い立場の

## 地域・班 だより

世田谷健康友の会・農大通り診療所  
高齢者訪問



8月3日(水)午後、農大通り診療所の職員4名と友の会役員5人で組をつくり一人住ま

## 渋谷区に要請 熱中症対策を

8月16日、渋谷区福祉高齢者サービス課長、福祉部高齢者サービス課利用者相談係保健指導主査の方と、代々木病院事務次長の



いの高齢者5軒を訪問しました。写真。直接現場に足を運んだ方が熱中症対策について

横田さん、広報室前林さん、友の会事務局局長清見で懇談をしました。前もって区に提出した要望書の回答をいただきながら意見交換をしました。友の会と病院は昨年、今年と高齢者の独り暮らし、高齢者のみ世帯の会員、患者の訪問を行ってきました。その中で行政に対して、猛暑からいのちを守ることを緊急重要課題と位置づけ、危機管理体制をとるよう要望しました。

渋谷区で行っている危機管理対策のとりくみとして、6月に2回ほど熱中症の学習会を

あらかじめ来意を告げると「うちは涼しくてクーラーはいらないくらいなの」などと訪問を辞退する人もいました。暑かったり、クーラーは設置されているが、寝室でない部屋に設置されていたりしまし

開いたこと。パンフを作成、見守り協力員や包括支援センターで活用していること。クーラー設置については「救急医療情報キット」については、議会でも取り上げられていて医療情報更新について問題があるが検討しているのをお話をいただきました。昨年の懇談より一歩進んだ区のとりのくみの情報が得られ、意見交換ができました。

来年度に向けて、広報カーの区内循環、低所得者に対するクーラー設置のための支援、猛暑からいのちを守る

た。ここでは、夏の間はクーラーの備えてある部屋で寝起きし、夜中もクーラーを使用するなどを話し合いました。5軒とも大層歓迎されました。熱中症対策が見てこそ適切な対応がとれることを私たちは経験から学びました。

「救急医療情報キット」については、議会でも取り上げられていて医療情報更新について問題があるが検討しているのをお話をいただきました。昨年の懇談より一歩進んだ区のとりのくみの情報が得られ、意見交換ができました。

友の会が地域で担っている役割の大きさを感じ、少し誇りにも思いました。

幹事 清見温子

私が代々木病院で友の会に入ったのは20年前ほどになりますが、友の会健診を受けるようになったのは、退職した時からです。職場での年一回の健診は定期的な受けていた

「渋谷社保協 第20回総会」

8月4日(水)、東京土建渋谷支部会館で渋谷社会福祉推進協議会の第20回総会が行われ、60人が参加しました。福井典子会長の挨拶、10年度の活動報告と11年度の活動方針、新役員の出がされました。

な顔をしていたので、その年から始めました。受け始めて4、5年経った頃ですが、3月に受けた人間ドックで、その後何事もなく...と言っても、少々気になることはあります。

「渋谷社保協 第20回総会」

「渋谷社保協」は、この一年間、区議会への請願行動や、震災後の区への緊急要請、街頭なんでも相談会、23区国保料引き上げから急遽行った「国保料アンケ

を受けて良かった健診

「渋谷社保協」は、この一年間、区議会への請願行動や、震災後の区への緊急要請、街頭なんでも相談会、23区国保料引き上げから急遽行った「国保料アンケ

渋谷社保協は、来年度も引き続き住民自治の確立のため、学び、考え、討議し、行動し、いっそう運動のすそ野を広げて、団体・個人と連携した運動を進めます。みなさまのご支援・ご協力をお願いします。

幹事 阿部裕輔

## これからの行事

### ヨーガ教室

▽10月3日・17日・24日の毎週月曜日

時間は午前10時〜11時30分

▽会場はふれあい会館

▽会費 2100円で

### 俳句の会

▽10月5日(水)

▽東館地下会議室 午後2時

▽会費 1000円で

### 布遊び(手づくり小物)

▽10月26日(水)午後2時

▽代々木病院東館地下会議室です参加費は500円です(非会員は600円)

▽会費

### 男の料理教室

▽10月はお休みです。11月は26日(土)6時から 千駄ヶ谷社会教育館

▽代々木病院東館地下会議室です参加費は500円です(非会員は600円)

▽会費

### 住宅リフォーム相談会

▽10月20日(木)10時〜12時

### 待合室2階

▽電話でのご相談も承ります。友の会事務所までご連絡ください。

●転居などで住所が変更される場合は、友の会事務所までご連絡下さい。



講演する中西繁さん

「渋谷社保協」は、この一年間、区議会への請願行動や、震災後の区への緊急要請、街頭なんでも相談会、23区国保料引き上げから急遽行った「国保料アンケ

すべての行事等の問い合わせ、申し込みなどは、友の会事務局までお願いします。1階待合室の友の会事務所は平日は10時から4時まで、この時間以外は2階広報室でご利用いただけます。土曜日、休日はお休みです。

直通番号 (5411) 95899  
ファックス (3404) 3421